

取組概要

便利で使いやすい公共交通ネットワークを構築するため、既存の鉄道やバス路線と連携し、交通結節点や地域拠点間を結ぶ「基幹バス」や、交通結節点を中心とする「地域交通（コミュニティバス、乗合タクシー）」の整備を進めます。
また、公共交通を魅力ある使いやすいものとし、将来にわたって持続可能なものとしていくために、市民・地域、行政、交通事業者、企業などが、それぞれの役割分担のもとに連携・協働して、公共交通を創り、守り、育てていく取組みを展開します。

基幹バスネットワークの整備

おかざきエクスプレス（岡崎駅 市民病院線）

バス基幹軸のサービス強化として、移動需要の多い交通拠点・中心市街地・公共施設間を結ぶ拠点快速バスの実証運行（H20～21）を行い、平成22年4月から名鉄バス路線（市補助対象路線）として本格運行へ移行しています。

矢作 市民病院線 額田 市民病院線 大門 市民病院線

交通・地域拠点間を結ぶ全市的な基幹バスネットワークを整備するため、これまで系統が無い、あるいはサービス水準が低い市民病院を結節点とする3ルートで実証運行を行っています。（H20～22）

地域交通の整備

乗合タクシー

交通空白・不便地域で、地域の特性に合った持続可能な生活交通を確保するため、住民が主体となって運行計画や利用促進策を検討し、地域の交通拠点・生活拠点へアクセスする乗合タクシー等の実証運行を行っています。旧額田町地域の4地区（5路線）で実証運行しています。（H20～H22）

コミュニティバス まちバス

中心市街地における回遊性、にぎわいの創出を目的に、平成19年7月から、コミュニティバス「まちバス」（2系統）を運行しています。

中心市街地の商業・公共・観光施設と交通結節点や周辺住宅地を結び、運賃は、乗継券の提示により、1日何回乗っても200円。商工会議所や沿線180店舗の協力のもと、まちバスに乗り買い物がされた方に、次回の乗車券をサービスしています。

まちバス
図書館交流
プラザへ接続
H20.11.1～



平成21年度運行費実績 273,348千円

補助金等による維持路線				岡崎市地域公共交通総合連携計画事業に基づく実証運行路線															
1	桜形線	2	大沼線	3	岡崎・西尾線（青野経由）	4	岡崎・足助線												
5	本宿・額田線（額田支所）	6	くらがり線	7	岡崎・西尾線（高須経由）	8	上郷線	9	岩中線	10	川向線								
11	岡崎・西尾線（高須経由）	12	美合線	13	岡崎市内線（三河上郷）	14	大沼線（上米河内）	15	中之郷線	16	岡崎・幸田線（ひにー）	17	岡崎・安城線	18	岡崎線（ワタバ産業）	19	本宿・額田線（本宿）	20	矢作循環線
21	美合・病院線	22	岡崎市内線	23	まちバス東西線	24	まちバス南北線	25	岡崎駅 病院線（おかざきエクスプレス）	26	矢作 病院線	27	額田 病院線	28	大門 病院線	29	下山乗合タクシー	30	形埜乗合タクシー
市委託運行路線				23	まちバス東西線	24	まちバス南北線	31	宮崎乗合バス	32	宮崎乗合タクシー	33	豊富乗合タクシー						

既存バス路線の改善

市補助路線

平成19年以降、交通事業者から運行維持が難しい15路線（27系統・174バス停）の廃止意向が示されました。市では補助制度を見直し、運行内容の見直しにより改善が見込まれる路線については、運行経費の赤字を補填し維持するとともに、地域や市の意向を反映した路線に改善することを前提とした補助内容とし、運行事業者と協議して、ニーズにあった路線へ改善を進めています。これまでに、矢作地区、東部地区等において見直しを行っています。

公共交通利用の促進

モビリティマネジメントの実施

秋の市民まつりの2日間を「公共交通に親しむ日」として、各交通事業者が参加して公共交通利用促進キャンペーンを実施しています。（H20～H22）
市内事業所を対象とした「エコ通勤トライアル」など、マイカー通勤からの転換を図るモビリティマネジメントを実施しています。（H21～H22）

公共交通マップの作成

市内バス路線図や主要駅発着のバス運行情報に加え、22年度では、タクシー情報、バスロケーションシステムに関する情報を掲載した公共交通マップ（改訂版）を作成しています。（H20～）

バス利用環境の整備

系統番号の導入

市内全バス路線・乗合タクシーに行き先別の系統番号を導入しています。（H20）

バスロケーションシステムの導入

市内名鉄バス・まちバス路線において、バス停や携帯電話で、バスの発車案内や待ち時間などがわかるバスロケーションシステムを導入しています。（H22）

バス待合環境の整備

都心地域の利用者の多いバス停において、上屋やベンチを整備しています。（H22）

ICカードの導入

鉄道と共通利用できるICカード（manaca）を導入しています。（H22）

